

昇降機定期検査報告に関する技術資料

- 本資料は、昇降機定期検査制度の法改正に伴い、当社製品の法定検査時に必要な項目に対し当社が定めた判定基準を記載したものです。
- 不適切な法定検査や当社が指定していない機器、部品又は改造等により起因する事故や不具合については一切責任を負いません。
- 本資料の内容は予告無しに更新される場合があります。法定検査前には必ず最新の情報を確認願います。

ナショナルエレベーター工業株式会社

お問い合わせ先: ナショナルエレベーター工業株式会社
〒989-3124
仙台市青葉区上愛子字松原47-12
TEL 022-392-8080
FAX 022-392-8088

平成20年 4月 1日

巻上機綱車溝判定基準(機械室あり)

1. 綱車溝摩耗判定基準

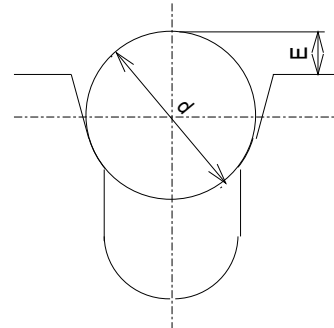
・アンダーカット溝の場合

E: 綱車外形からロープまでの寸法(判定基準値)

d: ロープ径

E値 判定基準

(mm)			
d	是正なし	要重要点検	要是正
12	$E > 1.0$	$0.0 < E \leq 1.0$	$E \leq 0.0$
14	$E > 1.0$	$0.0 < E \leq 1.0$	$E \leq 0.0$
16	$E > 2.0$	$1.0 < E \leq 2.0$	$E \leq 0.0$



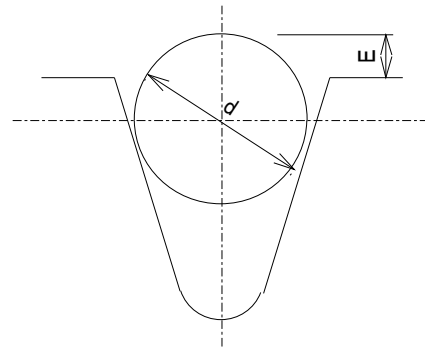
・V溝の場合

E: 綱車外形からロープまでの寸法(判定基準値)

d: ロープ径

E値 判定基準

(mm)			
d	是正なし	要重要点検	要是正
12	$E > 1.5$	$0.0 < E \leq 1.5$	$E \leq 0.0$
14	$E > 1.0$	$0.0 < E \leq 1.0$	$E \leq 0.0$
16	$E > 2.0$	$1.0 < E \leq 2.0$	$E \leq 1.0$



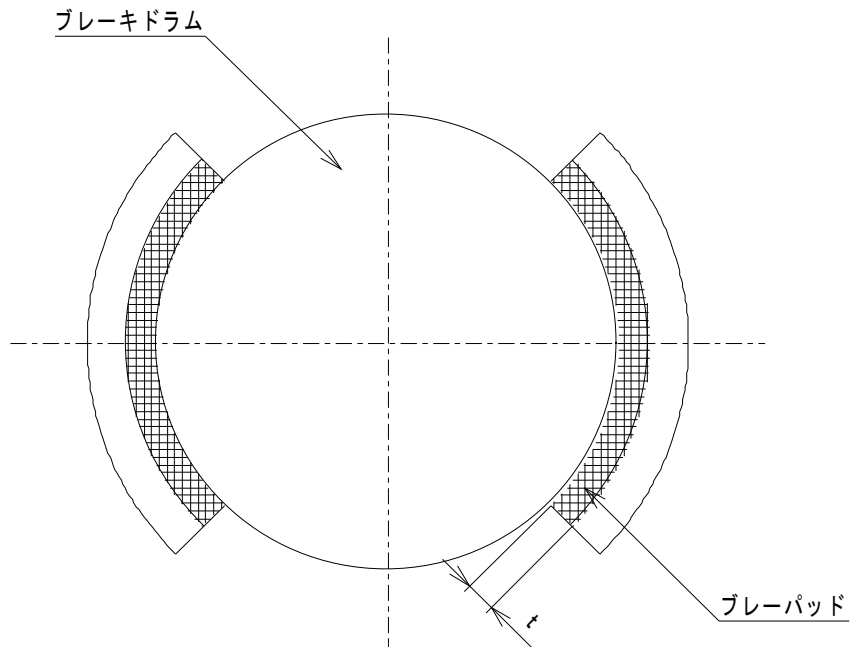
2. 綱車溝摩耗ばらつき基準

不均等な摩耗によって各ロープの溝に1mm以上の摩耗高さの差が出た場合は要是正となります。

巻上機ブレーキパットの判定基準(機械室あり)

t:ブレーキパッド残存厚(mm)

マシン型式	要重要点検 (ブレーキ制動)	要重要点検 (電気制動)	要是正
SKE-400、SKE-500、SKE-500	$6.0 < t \leq 7.5$	$6.0 < t \leq 7.0$	$t \leq 6.0$
SKE-750 SKE-***F	$7.0 < t \leq 7.5$	$7.0 < t \leq 7.5$	$t \leq 7.0$
SKE-1000、SKE1500	$8.5 < t \leq 9.5$	$8.5 < t \leq 9.0$	$t \leq 8.5$
上記以外	$6.0 < t \leq 7.0$	$6.0 < t \leq 6.5$	$t \leq 6.0$



巻上機綱車溝判定基準(機械室なし)

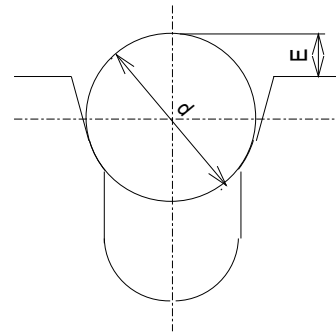
1. 綱車溝摩耗判定基準

E: 綱車外形からロープまでの寸法(判定基準値)

d: ロープ径

E値 判定基準

(mm)			
d	是正なし	要重要点検	要是正
10	$E > 1.4$	$0.4 < E \leq 1.4$	$E \leq 0.4$
12	$E > 1.0$	$0.0 < E \leq 1.0$	$E \leq 0.0$

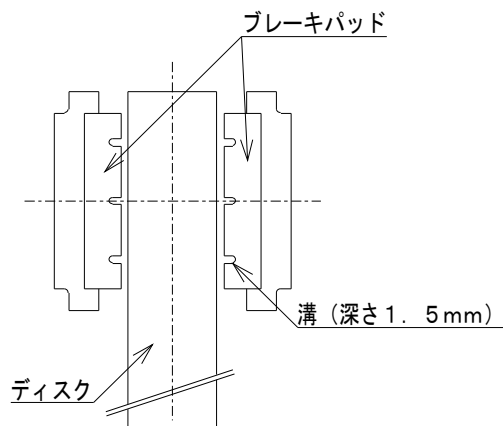


2. 綱車溝摩耗ばらつき基準

不均等な摩耗によって各ロープの溝に1mm以上の摩耗高さの差が出た場合は要是正となります。

巻上機ブレーキパットの判定基準(機械室なし)

パッド摺動面の溝(深さ1.5mm)が無くなれば要是正となります。



巻上機綱車溝判定基準 (SHR-2000AB、SHR-4000AB)

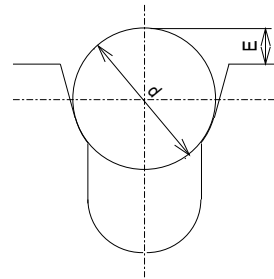
1. 綱車溝摩耗判定基準

E: 綱車外形からロープまでの寸法 (判定基準値)

d: ロープ径

E値 判定基準

(mm)			
d	是正なし	要重要点検	要是正
12	$E > 2.4$	$1.4 < E \leq 2.4$	$E \leq 1.4$
14	$E > 3.4$	$2.4 < E \leq 3.4$	$E \leq 2.4$



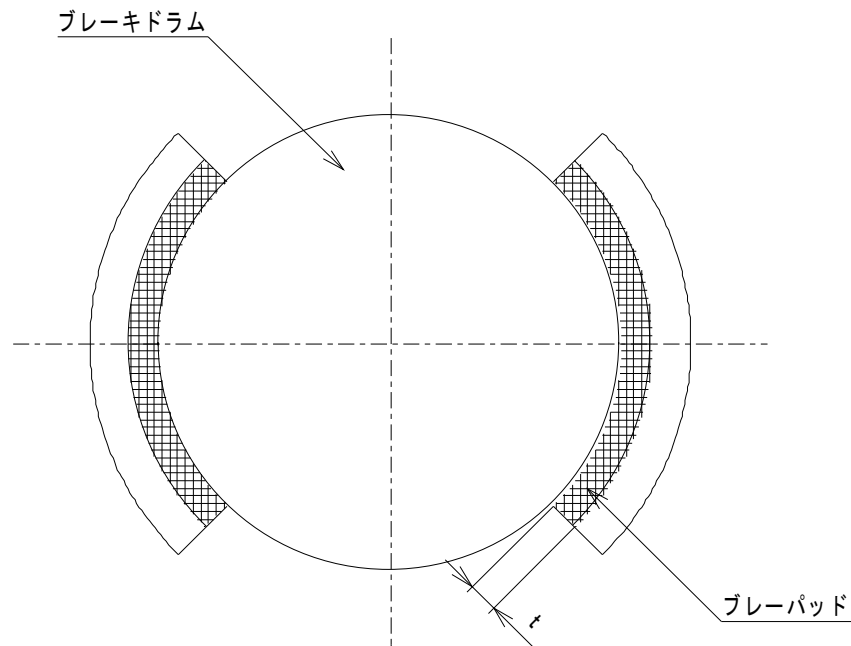
2. 綱車溝摩耗ばらつき基準

不均等な摩耗によって各ロープの溝に1mm以上の摩耗高さの差が出た場合は要是正となります。

巻上機ブレーキパットの判定基準 (SHR-2000AB、SHR-4000AB)

t: ブレーキパッド残存厚 (mm)

マシン型式	是正なし	要重要点検 残存厚	要是正 残存厚
SHR-2000AB、SHR-4000AB	$t > 6.5$	$6.0 < t \leq 6.5$	$t \leq 6.0$



巻上機綱車溝判定基準(小荷物専用昇降機)

1. 綱車溝摩耗判定基準

・アンダーカット溝

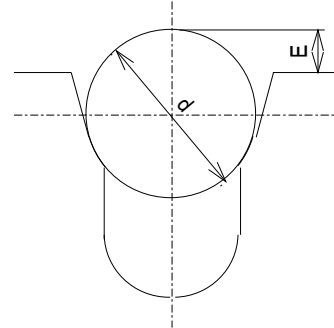
E: 綱車外形からロープまでの寸法(判定基準値)

d: ロープ径

E値 判定基準

(mm)

d	是正なし	要重要点検	要是正
6	$E > 0.0$	$-1.0 < E \leq 0.0$	$E \leq -1.0$
8	$E > 0.0$	$-1.0 < E \leq 0.0$	$E \leq -1.0$



・V溝

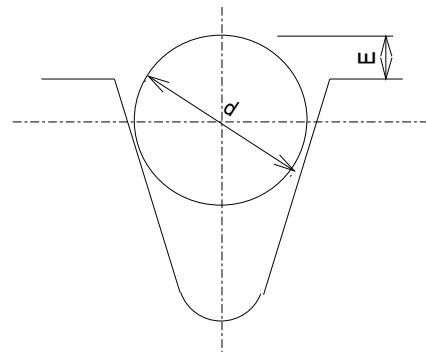
E: 綱車外形からロープまでの寸法(判定基準値)

d: ロープ径

E値 判定基準

(mm)

d	是正なし	要重要点検	要是正
6	$E > 0.0$	$-1.0 < E \leq 0.0$	$E \leq -1.0$
8	$E > 0.0$	$-1.0 < E \leq 0.0$	$E \leq -1.0$



2. 綱車溝摩耗ばらつき基準

不均等な摩耗によって各ロープの溝に1mm以上の摩耗高さの差が出た場合は要是正となります。

巻上機ブレーキパットの判定基準(小荷物専用昇降機)

t:ブレーキパッド残存厚(mm)

マシン型式	是正なし	要重要点検	要是正
SK50、SK100	$t > 4.5$	$4 < t \leq 4.5$	$t \leq 4.0$
SK200、SK300	$t > 5.0$	$4.5 < t \leq 5.0$	$t \leq 4.5$
上記以外	$t > 4.5$	$4 < t \leq 4.5$	$t \leq 4.0$

